

図書館だより



武雄高等学校 図書指導部

令和2年12月18日発行

すっかり寒くなりましたね！新型コロナウイルスやインフルエンザにかかりやすい時期なので、体調を崩さないように気を付けてください！今回は、1年生の図書委員が「冬休みに読んでもらいたい本」を紹介します(*'▽')



※冬休みに読んでもらいたい本 by 1年図書委員※

①『細雪』[上・中・下]

谷崎 潤一郎【著】 (新潮社)



②『魔女の宅急便』[全6巻]

角野 栄子【著】(KADOKAWA)



《あらすじ》

時は昭和11年。大阪、船場の旧家に産まれた四姉妹の三女、雪子は30歳を過ぎて未婚で、これが姉たちの悩みでした。ある日、雪子の妹の駆け落ちを新聞社の間違いで「雪子」と報じられてしまいます。この報道がきっかけとなり、雪子の縁談は激減してしまうのでした。

「細雪」では、これ以外にも四姉妹の縁談や結婚をめぐるトラブルが描かれます。

最後には雪子も良い縁談に恵まれ、やっと結婚に結びつくのですが……。

《あらすじ》

お母さんは魔女、お父さんは普通の人。その間に生まれた一人娘のキキ。コリコの町に黒猫のジジとひとり立ちする。そこで、「魔女の宅急便」という名前で配達やお手伝いを始めることに。

大晦日、コリコの町では十二時の鐘とともにマラソン大会がスタートする。すると市長さんからキキに一本の依頼が。その内容は隣の町から時計を盗んできてほしいという内容で……。キキはその要求にどう対応するのか。

《読んでもらいたい理由》

この作品の舞台は秋から春にかけてです。今読めば、ちょうど「細雪」と同じ季節感で読むことができます。また、この本は上・中・下の3巻ある長編なので、時間がある長期休暇期間に読むのにぴったりです。最後は、雪子の身に何かが起こり、独特な終わり方をしています。ぜひ読んで、確かめてみてください。

《読んでもらいたい理由》

冬休みに読んでほしい本ということでたくさんある魔女の宅急便の話から大晦日の話を選びました。キキはこの大晦日の話も含むたくさんの経験を通して成長していきます。皆さんも一年の終わりなので成長した自分と重ねて読んでみて下さい。

この2作は本校図書館にもあります☆どちらも人気作なので、読みたい人はお早めに図書館まで♪



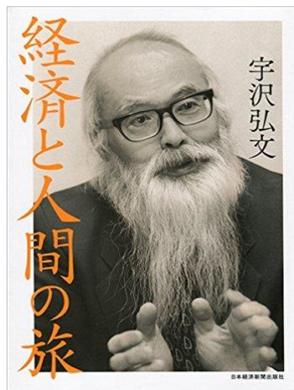
☆大学入試出典コーナー リニューアル☆



この度、大学入試出典コーナーをリニューアルしました☆今回は“九州の大学二次試験（国語・現代文）Ver.”です(^)/九州大学・福岡教育大学・宮崎大学・鹿児島大学・琉球大学・西南学院大学・久留米大学・福岡大学・九州産業大学の出典を集めてみました(*´▽`*)これらの大学の中に自分の志望大学がある人や、興味がある人はぜひ図書館まで来てください(*´▽`*)



◆高森先生(国語)のおすすめ◆



『経済と人間の旅』
宇沢 弘文【著】
(日本経済新聞出版社)



『経済学の宇宙』
岩井 克人【著】
(日本経済新聞出版社)



<高森先生のおすすめポイント>

かつて日本の中曽根康弘首相とドイツのワイツェッカー大統領が、「最近、各界のリーダーが哲学を読まなくなって嘆かわしい」という話題で意気投合したという話を聞いたことがある。現在はその趨勢がより強まっている。読書には二種類ある。娯楽の読書と教養のための読書だ。その違いは弁えておかななくてはならない。読書は学びであり、学ぶ者は本を読むべきだ。不屈の読書。紹介するのは哲学ではないが、日本を代表する経済学者の二冊である。もっと勉強しようと、元気をくれる。

こちらの2冊は本校図書館にありますので、読んでみたい人はぜひ図書館まで来てください(*´▽`*)この2冊は2年前に入荷しました(^)/経済学部・商学部系志望の人には特におすすめです(*´艸`)



三者面談期間中&冬休み期間中は **16:35 閉館**です☆